

# 募金活動

※数値は四捨五入してあります。

2009年度に(財)日本ユニセフ協会に寄せられた募金総額(カード&ギフト募金、緊急募金を含む)は、個人・学校・団体・企業・報道機関などのご協力により、188億3,150万円となりました。

●個人からのご協力 145億9,998万円

- 学校からのご協力 3億7,551万円
  - 団体・企業・報道機関からのご協力 27億5,542万円
  - ユニセフ・カード&ギフトを通じてのご協力 11億59万円
- みなさまのあたたかいお心に感謝致します。

6月

- 夏のユニセフ募金キャンペーン実施
- 6月10日 ユニセフ・シンポジウム「気候変動と子どもたち」開催



環境保護への関心が高まりを見せている一方で、気候変動によって引き起こされたさまざまな問題が、世界の子どもたちの生活に大きな影を落としている事実はあまり語られることがありません。日本に住む私たちが見落としがちなこうした問題を訴えるために、シンポジウムが開催されました

7月

- 7月4日～12日 J8(ジュニア・エイト)サミット開催(イタリア・ローマ)

世界14カ国から54名の子どもたちの代表が参加し、「経済危機下における子どもの権利」、「気候変動」、「アフリカにおける貧困と開発問題」、「教育」の4つの議題について話し合いました



© UNICEF

- 9月16日 日本の子どもたちに、途上国の衛生問題や正しい手洗いの大切さを理解し、手洗いの習慣を楽しく身につけてもらうための「世界手洗いの日」プロジェクトがスタート。日野原重明大使やタレントのルー大柴さんからのサポートを受けて、様々な広報活動を展開しました。



11月

- 11月20日 「子どもの権利条約」採択20周年記念イベント開催  
1989年11月20日に国連総会で採択された「子どもの権利条約」の採択20周年を記念するとともに、まだ多くの課題が残されていることを訴えるためのメディアイベントを開催しました。

子どもの権利条約



10月

- 10月13日～30日 秋季ユニセフ・キャラバン・キャンペーンで中国・四国地方6県を訪問
- 10月6日 未来の国際協力に携わる人材養成を目的とした第9回国際協力講座スタート。2010年2月9日までに開講された全15回の講義のうち、13回以上の講義に出席し、レポートを提出して修了証を授与された受講生は46名でした。

2月

- 2月15日～23日 アグネス大使 ソマリア視察



長年にわたる紛争によって世界最大規模の国内避難民キャンプを抱えるソマリア。無政府状態の中、社会の再建に取り組むソマリアの女性と子どもたちの活動を視察しました

3月

- 3月11日 ユニセフ・東ティモール事務所 久木田純氏による報告会 報告会「東ティモール 現地報告会」開催
- 3月22日～28日 世界中の人々が「清潔で安全な水」を使えるよう、ユニセフの活動を支援するプロジェクト「TAP PROJECT 2010」を関東、近畿、関西にて実施



報告会の様子

当協会は、2009年度も、支援の輪を広げるため、年間を通してさまざまな活動を展開してまいりました。  
ここではその一部をご紹介します。

写真: ©日本ユニセフ協会  
(特に記載がないもの)

## 2009年

### 4月

- 4月1日 ユニセフの支援物資をお申し込みいただくことで、指定の支援物資を途上国の子どもたちにプレゼントすることができる「ユニセフ支援ギフト」プログラムがスタート



1983年のスタート以来、27回目を迎えたユニセフ・ラブウォーク中央大会には、参加者・ボランティアを含め総勢698名が参加しました

- 4月5日 ユニセフ・ラブウォーク中央大会開催
- 4月13日～23日 アグネス大使 プルキナファン視察



西アフリカにあるサハラ砂漠の南に位置するプルキナファン。アグネス大使は、気候変動によって引き起こされた砂漠化、深刻な干ばつ、水不足などの影響を受け、辛い状況に追い込まれている子どもたちの現状を視察・報告しました

©日本ユニセフ協会/2009/kaneko

### 5月

- 5月26日～6月5日 春季ユニセフ・キャラバン・キャンペーンで九州地方4県を訪問(小学校や中学校への出前事業)

- 7月15日 ユニセフ・チャーマー事務所 國井修氏による報告会「緊急援助から復興支援へ」開催

- 7月19日～26日 カンボジア・スタディツアー実施  
学校募金によって支えられているユニセフの支援活動や、子どもたちの現状を視察するため、全国各地で教壇に立たれている方々9名がカンボジアを訪問しました。

### 8月

- 教育現場でのユニセフ活動への理解を深めるため、教職員対象の「ユニセフセミナー」と、中・高校生を対象とした「ユニセフリーダー講座」を開催しました。

- 8月6日 ユニセフ・スリランカ事務所 井本直歩氏による報告会「内戦終結後のスリランカ」開催



ユニセフリーダー講座の様子

### 9月

- 9月1日 ユニセフ・カードとギフト 2009秋冬キャンペーンがスタート

©UNICEF Copenhagen 2008 Dan Blair



ユニセフ支援ギフトの栄養補給ミルク

### 12月

- 冬のユニセフ募金キャンペーン実施
- 12月23日 第31回ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金中央大会開催



11月から12月にかけて全国で展開された「ユニセフハンド・イン・ハンド募金」キャンペーンには、1,500を超える団体・個人のみなさまにご参加いただきました



## 2010年

### 1月

- ハイチ地震 緊急募金の受付をスタート  
大地震によって壊滅的な被害を受けたハイチでのユニセフの活動を支援するため、緊急募金の受付を開始しました。

- 1月19日～22日 冬季ユニセフ・キャラバン・キャンペーンで沖縄県を訪

沖縄県那覇市立小椋南小学校での蚊帳を使った実習の様子



# (財)日本ユニセフ協会の2009年度事業報告

(2009年4月1日～2010年3月31日)

## (財)日本ユニセフ協会 2009年度の活動

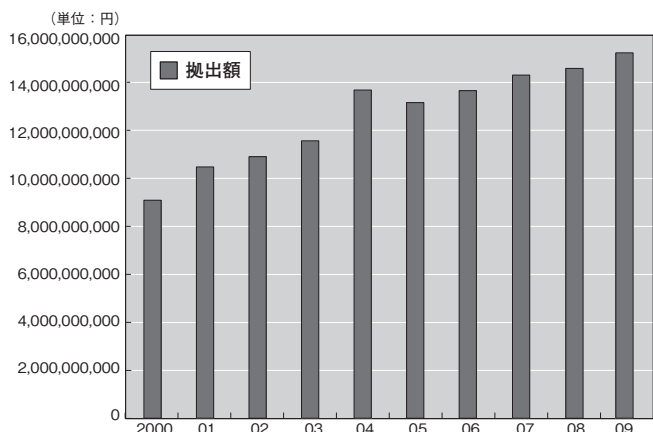
世界36\*の先進国・地域には、ユニセフ本部との協定により、各国において唯一ユニセフを民間で代表する国内委員会がおかれています。各国内委員会は、それぞれの国で民間からのユニセフ募金を集めるほか、ユニセフの活動や世界の子どもたちについての広報活動、及び「子どもの権利条約」に定める「子どもの権利」の実現を目的としたアドボカシー（政策提言）活動に取り組んでいます。日本における国内委員会である財団法人日本ユニセフ協会も、日本国内での募金、広報及びアドボカシー活動に取り組んでいます。みなさまからの温かいご理解とご支援により、2009年度のユニセフ本部への拠出金は152億円となりました。

※2010年3月31日現在

## (財)日本ユニセフ協会の2009年度収支報告 (2009年4月1日～2010年3月31日)

(単位：円)

### (財)日本ユニセフ協会の拠出額の推移



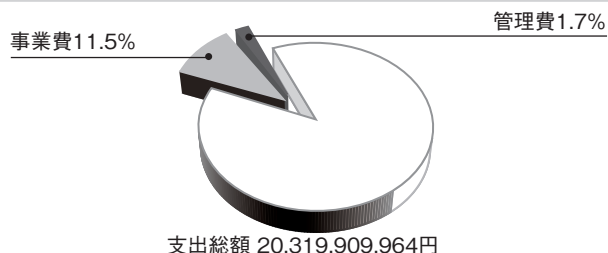
\*ユニセフの活動はすべて、民間のみなさまからの募金と各国政府の任意拠出金によって成り立っています。各国内委員会がみなさまからお預かりした募金、及びグリーティングカード募金は、ユニセフ本部との協定により、その75%以上がユニセフへ拠出されることとなっています。当協会の場合、2009年度は18,831,496,226円お預かりし、その80.7%がユニセフ本部に拠出され、子どもたちを支援するための活動に充てられました。残りの19.3%を、日本国内での募金活動費、啓発宣伝費、管理費等の事業経費や緊急支援時のための積立金等に充てさせていただきました。当協会では、より多くの支援が子どもたちに届くよう、事業の効率的な実施とユニセフの活動にご理解をいただくための広報活動に努めています。当協会の活動に、引き続きご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

右記は、監事及び公認会計士（小見山満、窪川秀一、川瀬一雄）の監査を受けた財務諸表などの一部である収支計算書の要約です。その他の財務諸表やより詳しい活動報告、募金の使われ方につきましては、ホームページをご覧ください。

(財)日本ユニセフ協会 <http://www.unicef.or.jp>

ユニセフ 活動報告

### (財)日本ユニセフ協会の支出総額にみる 事業費・管理費の割合 (2009年度)



科目	金額	
<b>I 事業活動収支の部</b>		
事業活動収入		
基本財産運用収入		9,714,362
会費収入		72,278,000
寄付金収入		17,742,987,631
寄付金収入※1	12,084,003	
*4 (募金収入※2)	17,730,903,628	
(グリーティングカード募金収入※3)		1,100,592,598
共同事業本部分担金収入※5		17,778,000
雑収入		47,811,247
事業活動収入計		18,991,161,838
事業活動支出		
ユニセフ本部支出		16,299,842,517
ユニセフ本部拠出金※6	15,200,000,000	
ユニセフ本部業務分担金※7	1,099,842,517	
事業費		2,337,636,822
国際協力研修事業費※8	6,075,637	
啓発宣伝事業費※9	514,716,103	
啓発宣伝支部強化費※10	57,291,895	
募金活動事業費※11	1,450,297,540	
グリーティングカード募金事業費※12	309,255,647	
管理費※13		336,594,718
事業活動支出計		18,974,074,057
事業活動収支差額		17,087,781

<b>II 投資活動収支の部※14</b>		
投資活動収入		
特定預金取崩収入	466,610,700	
投資活動収入計		466,610,700
投資活動支出		
特定預金取得支出	397,213,937	
固定資産取得支出	48,153,525	
投資活動支出計		445,367,462
投資活動収支差額		21,243,238

<b>III 財務活動収支の部 (該当なし) ※15</b>		
当期収支差額		38,331,019
前期繰越収支差額		862,137,426
次期繰越収支差額		900,468,445
収入総額※16		20,319,909,964
支出総額※17		20,319,909,964

※1 日本国内で行われる広報・啓発活動等への賛助金等 ※2 開発途上国の子どもたちへの支援を目的とされた募金 ※3 ユニセフ本部が製作したグリーティングカードやユニセフグッズを通じた協力 ※4 ※2と※3とを合わせユニセフ本部への拠出対象となる ※5 日本ユニセフ協会がユニセフ本部と共同で行ったキャンペーンに対してユニセフ本部が負担したもの ※6 ユニセフ活動資金に充当されるもの ※7 ユニセフ本部と各国内委員会が共同して行う各種キャンペーンに対する分担金 ※8 国際協力に携わる人材育成にかかる費用 ※9 「世界子供白書」「ユニセフ年次報告」等の各種広報資料の作成、シンポジウム等のアドボカシー活動費用 ※10 全国26の支部・友の会・募金事務局による広報・啓発活動関係費 ※11 募金関連資料の作成と送付、告知関連費、領収書の発行・送付関係費等 ※12 ユニセフ本部が製作するグリーティングカードやユニセフグッズの頒布に関する費用 ※13 人件費や光熱水費等の事務所費 ※14 自然災害などユニセフ本部からの緊急支援要請に応じるための特定預金(積立金)等の積立・取崩、及び什器備品の購入(リースを含む)・売却を指します ※15 借入金を受け入れ・返済を指します。当協会に該当はありません ※16 事業活動収入計・投資活動収入計・前期繰越収支差額の合計です ※17 事業活動支出計・投資活動支出計・次期繰越収支差額の合計です